



デロンギ パワーブレンダー **家庭用** 型番 **KFM8150J**

MADE IN CHINA

取扱説明書



特長

■選べる4つの運転モード

材料や料理によって、低速、中速、高速の3段階のスピードから選択できます。さらに、ダイヤルをおさえている間だけ運転するパルス(手動)を加え、計4つのモードを簡単に選べます。

■安全設計で耐久性のある本体

本体は安定感・耐久性のあるメタルボディ。また、ハンドルに付いた安全装置にふたがしっかりと固定されていないと電源が入らない安全設計になっています。ふたは、しっかりとロックされるため材料が吹きこぼれにくくなります。

■お手入れ簡単なブレード

ブレードやパッキンも取り外せるので、お手入れが簡単です。衛生面でも安心してお使いいただけます。また、ふたのキャップを使い、ブレードを取り外し／取り付けする設計になっているため、不意に外れてしまう事故の心配がありません。

このたびは、デロンギ パワーブレンダー KFM8150Jをお求めいただき、誠にありがとうございました。本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1～2
各部の名称とはたらき	3～4
基本の操作	5～6
お手入れのしかた	7
材料について	8
故障かな? と思ったら	9
仕様	9
アフターサービスについて	10

安全上のご注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の2つに分け、明示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

4. 各注意事項には、「注意」、「禁止」、「強制または指示」をうながす絵表示が付いています。



発火注意



感電注意



禁止行為



分解禁止



強制／指示



プラグをコンセントから抜く

電源／電源コード／プラグについて

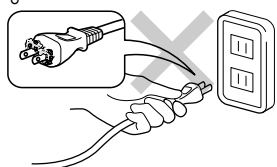


警告

- 電源は、家庭用交流100V／50／60Hzをご使用ください。
- 濡れた手で、プラグを抜き差ししないでください。感電する恐れがあります。



- プラグに付いたホコリなどは、定期的に取り除いてください。ホコリがたまったまま使用すると、火災の原因となります。

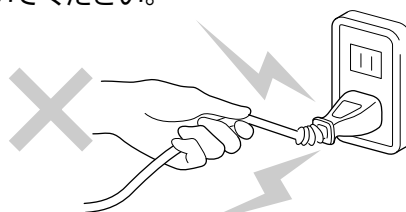


- 破損したコード／プラグは、絶対に使用しないでください。
- 使用中に、電源コード／プラグが異常に熱くなる場合は、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター（10ページ参照）までご相談ください。

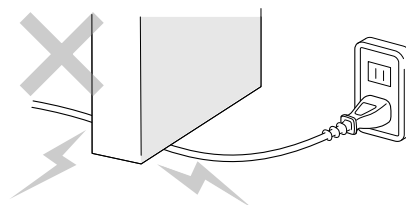


注意

- プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。
- 使用時以外は、プラグをコンセントから抜いておいてください。
- プラグを抜く前に、本体の電源（スイッチ）を切ってください。
- プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。



- 電源コード／プラグは、無理に曲げたり、物をのせたり、傷付けないように大切に取扱ってください。



電源/電源コード/プラグについて

 警告

- 小さなお子様の手の届くところや、ペットの近くで使用しないでください。

 注意

- 平らで安定のよいテーブルなどに置いて使用してください。



使用上のご注意

 警告

- 運転中にふたを外したり、ガラスボトルの中に指やはし、スプーンなど調理材料以外を入れないでください。

 注意

- はじめてご使用になる前には、ガラスボトル、ふた、ブレードを水洗い(7ページ参照)してください。
- 本製品の定格時間は3分です(容量1.0Lの水負荷時)。ただし、水分の少ない固形物などをブレンダーする場合は容量を0.3L以下にして、連続して1分以上は運転しないでください。
- 運転中は、その場から離れないでください。
- 運転中に本製品を移動させないでください。

 注意

- 材料を入れない状態で「から運転」しないでください。
- 本製品は家庭用の調理器具です。他の用途で使用された場合の故障及び損傷は有償にて修理いたします。
- 熱い材料を入れて運転しないでください。
- ガラスボトルを本体から取り外す際は、必ずスピードダイヤルを「0」にし、ブレードの回転が完全に止まったことを確認してから取り外してください。
- ガラスボトルの定格容量は1.25Lですが、材料により運転中にあふれ出ることがありますので、5ページの最大容量の目安をこえないようにしてください。



お手入れについて

 警告

- 本体や電源コード、プラグは、水につけたり、水洗いしないでください。
- ご自分で分解したり、修理/改造することは、絶対にお止めください。

 注意

- お手入れをする際は、電源(スイッチ)を切り、プラグをコンセントから抜いてください。
- ブレードは鋭利ですので、お手入れの際には、けがなどしないようご注意ください。



各部の名称とはたらき (取り付け／取り外し方)

キャップ

通常はふたに取り付けておきます。キャップを取り外して、ふたの穴から材料を入れたり、キャップを計量カップとして使うこともできます。また、ブレードの取り付け／取り外しにも、キャップを使用します。
※詳細は 4 ページ参照

△ご注意

キャップの底には小さな穴が開いております。キャップをひっくり返して計量カップとしてご使用なさる際は、指などで穴をふさいでお使いください。

ブレード

ステンレス製です。電源を入ると回転し、材料を砕いたり、均一に混ぜ合わせます。

△ご注意

ブレードには鋭い刃が付いています。十分に注意して取り扱ってください。

本体溝

ガラスボトルの液だれや、万一の吹きこぼれをここから逃がします。

通風孔

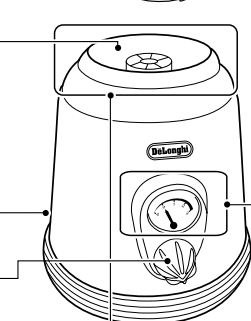
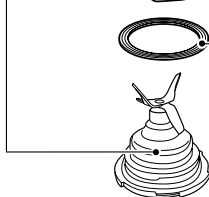
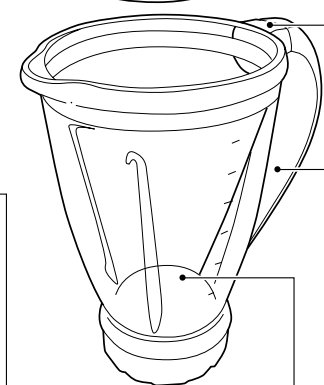
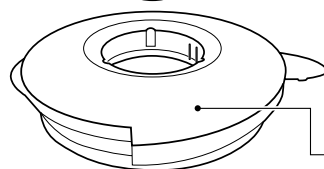
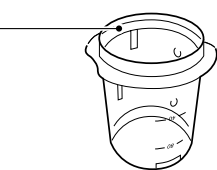
運転中は内蔵ファンが作動し、本体底面から風がでます。

△ご注意

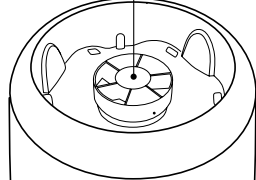
運転中は絶対にふさがないようにください。

スピードダイヤル

ダイヤルを回して、材料に適したスピードを選択してください。



ブレード受け



トレイ

途中で材料を追加する場合に取り付けます。トレイを使用する場合は、キャップを取り外してトレイを取り付けます。

ふた

取り付けた状態で使用します。

安全装置

ハンドルに付いた安全装置です。ふたをしっかりと固定します。

△ご注意

安全装置にふたがしっかりと固定されていないと、作動しない設計になっています。

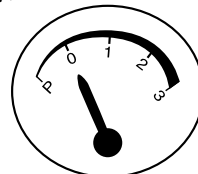
ハンドル

ガラスボトル

リットル単位での計量には、「LITRE」の下の目盛りを目安にお使いください。

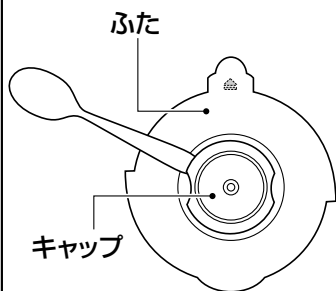
ブレード用パッキン

スピード表示



0 (電源オフ)	電源を切ります。
1 (低速)	ジュース作りや、牛乳などの液体だけの材料をブレンダーに適しています。
2 (中速)	ソース、ドレッシング、マヨネーズなどのブレンダーに適しています。
3 (高速)	スープなどのブレンダーに適しています。
PULSE (手動)	ダイヤルをPに倒しているあいだだけ運転します。ブレンダーを微調整するときに便利です。

キャップの取り付け／取り外し



ふた

キャップ

取り付けかた

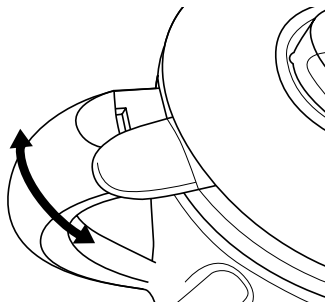
ふたの凹部とキャップの凸部を合わせて押し込みます。

取り外しかた

キャップの切り欠き部分にスプーンの柄などを押し込むようにして、引き上げます。

ふたのロック／ロック解除

ふたを矢印の方向にスライドさせてしっかりと固定します。きちんと固定されていないと、安全装置が働き、作動しません。ロックを解除するには、逆方向にスライドさせます。



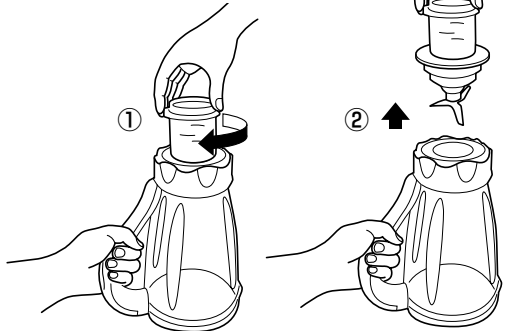
ブレードの取り外し／取り付け

△ご注意 ブレードには鋭い刃が付いています。十分に注意して取り扱ってください。

ブレード

取り外しかた／取り付けかた

ブレードを取り外すには、キャップを使ってブレードを取り外します。ブレードを取り外すには、キャップとブレードの溝を合わせて時計回り（矢印の方向）に回して（①）取り外します（②）。ブレードを取り付けるには、ブレード用パッキンがずれていないことを確認してから、キャップとブレードの溝を合わせ、ブレードをキャップに取りつけます。ブレード台に挿し込み、時計と反対回り（矢印の方向）に回してしっかりと固定します。

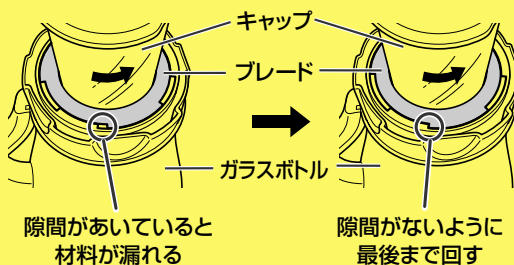


△ご注意

ガラスボトルの底にブレードを取り付ける際、図1のように溝に隙間がある状態ですと、材料が漏れることがあります。図2のように隙間がないようにしっかりと最後まで回してください。

図1

図2



隙間がっていると材料が漏れる

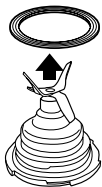
隙間がないように最後まで回す

また、しっかり取り付けても材料が漏れる場合は、ブレード用パッキンを交換する必要があります。弊社サービスセンターまでご連絡ください。

ブレード用パッキン

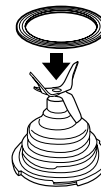
取り外しかた

ブレード台から取り外します。



取り付けかた

ブレード台に置き、溝にしっかりとめ込みます。



基本の操作

材料をブレンドする際の基本操作を説明します。

操作手順

1 ブレードをしっかりと取り付けたガラスボトル (4ページ参照)に、ブレンドする材料を入れる

ガラスボトルの容量は1.5L(定格容量1.25L)ですが、材料の状態によっては、運転中にあふれでることがありますので、ご注意ください。

最大容量の目安

●牛乳などの軽く泡立ちやすいもの	0.5L
●液体(水分)がメインのジュースなど	1.0L
●冷ましたスープ、ソースなど	1.2L
●ピューレ状にする、スムージー	0.6L
●製氷皿の氷を砕く(クラッシュアイス)	0.3L



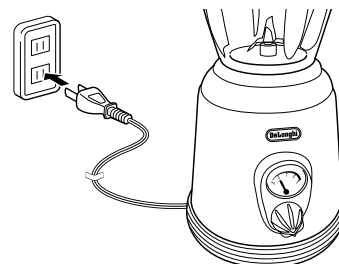
2 ガラスボトルにふたをしっかりと取り付け、 ロック(4ページ参照)する

※ふたをスライドさせて、ハンドル部分の安全装置にしっかりと固定してください。

※ガラスボトルの注ぎ口を覆う位置で、ふたを取り付けてください。



3 ガラスボトルを本体にのせて、 プラグをコンセントに差し込む



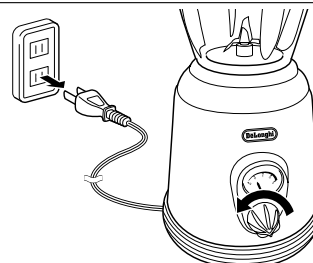
4 材料に適したスピード表示に合わせる(3ページ参照) スピードダイヤルを「1」～「3」または「P」に合わせます。

△ ご注意

- 運転中は、その場を離れないでください。
- 本製品の定格時間は3分です(容量1.0Lの水負荷時)。ただし、水分の少ない固形物などをブレンドする場合は容量を0.3L以下にして、連続して1分間以上は運転しないでください。



5 材料がお好みの状態になったら、 ダイヤルを「0」の位置に戻して 運転を停止し、プラグを コンセントから抜く



途中で材料を追加したいときは

材料を追加する方法は、キャップを外す方法とトレイに付け替える方法があります。

①いったん、運転を停止してからキャップを取り外します(4ページ参照)。ふたの穴から材料を追加していきます。



②いったん、運転を停止してからキャップを取り外し(4ページ参照)、トレイを取り付けます。トレイから材料を追加していきます。



③生パン粉など、材料が飛び散りやすい場合は、ふたの穴を手で覆うか、必要に応じてキャップを取り付けてください。

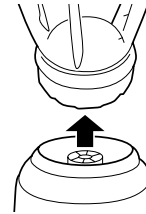


できあがったら

1

ガラスボトルを本体から取り外す

ブレードの回転が止まったことを確認してから取り外してください。



2

ふたのロックを解除し(4ページ参照)、ガラスボトルからふたを取り外す



3

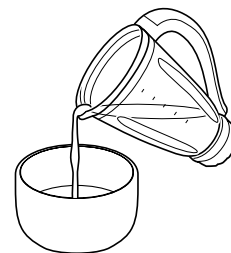
できあがった材料をコップや容器に移す



材料が取り出しにくいとき

ガラスボトルの底に材料がたまって取り出しにくい場合は、へらなどでかき出して容器に移してください。このとき、材料がこぼれないよう、十分にご注意ください。

※金属製のへらなどは使用しないでください。ガラスボトルに傷が付く恐れがあります。



お手入れのしかた

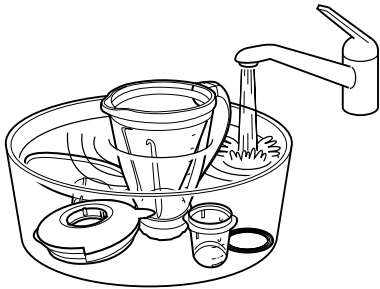
ご使用後は、すぐに下記の方法でお手入れをしてください。食材を入れたままにしておくと、故障や不具合の原因となります。

水洗いできます.....

■本体とブレードを除く各部

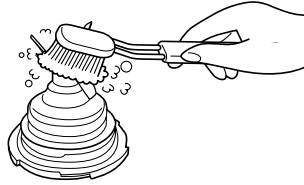
- キャップ
- トレイ
- ふた
- ブレード用パッキン
- ガラスボトル

中性洗剤を入れたぬるま湯に浸したあと、スポンジで洗い、十分にすすいで乾かしてください。



■ブレード

柄のついたブラシに中性洗剤を付けて洗ったあと、十分にすすいで乾かしてください。



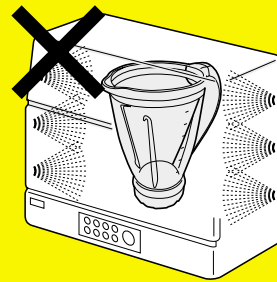
△ ご注意

ブレードには鋭い刃がついています。十分に注意して取り扱ってください。

△ ご注意

食器洗い機は使用できません

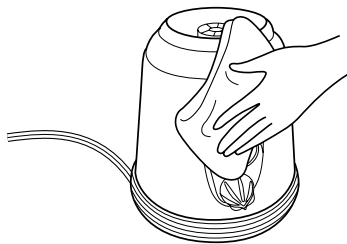
本製品は、ガラスとプラスチック部、アルミ部が一体となっていますので、食器洗い機は使用しないでください。変形する場合があります。



水洗いできません.....

■本体

本体、電源コード、プラグの汚れは、よくしぼったふきんで拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。



汚れが落ちにくい場合は、少量の中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、よくしぼったふきんで洗剤が残らないように拭き取ってください。

△ ご注意

- 本体、電源コード、プラグは、水に浸したり水洗いしないでください。

△ ご注意

- 研磨剤やシンナー、ベンジン、金属たわし、漂白剤などは使用しないでください。



材料について



ポイント

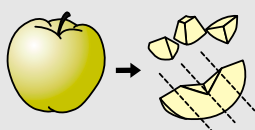
- かたさの異なる材料をブレンドするときは、液体→やわらかいもの→かたいものの順で入れてください。
- 冷たい飲み物などを作る場合は、あらかじめガラスボトルやコップなども冷蔵庫に入れて冷やしておきましょう。
- 果物のかたい芯や種、柑橘類の袋は取り除いておくと、なめらかに仕上がります。



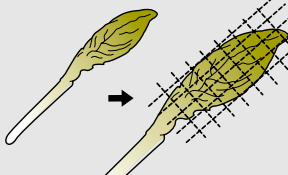
材料の下ごしらえ

果物や野菜などの材料は、あらかじめ皮をむいて種を除き、小さめに切っておいてください。

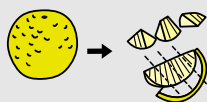
りんご：2cm角



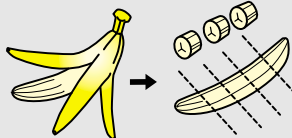
ほうれん草、小松菜など：2cm幅



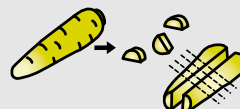
オレンジ：小房に分け2～3等分



バナナ：2cm幅



にんじん：2～3mm厚の半月切り



セロリ：2～3mm厚の薄切り



ピーマン：2～3mm厚の薄切り



材料をブレンドする際のご注意

- 以下の材料や用途にはご使用になれません。
生クリームや卵白の泡立て、山いも・パン生地・マッシュポテトなどの粘り気の強いもの、パルミジャーノチーズや乾燥大豆などの非常にかたいもの、肉や魚のミンチ
- 材料が多すぎるとうまくブレンドできない場合があります。
- 加熱調理した材料は、少し冷まして(60℃程度)からブレンドしてください。

⚠️ ご注意

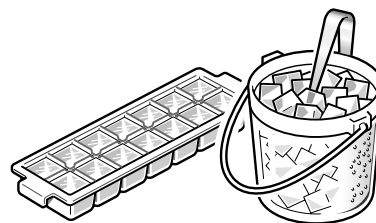
- 「から運転」はしないでください。故障の原因となります。
- ブレードが回転しないなど、うまくいかないときは、9ページの「故障かな?」をご覧ください。原因を取り除いてからやりなおしてください。



アイスクラッシュ(氷を砕く)

クラッシュアイスを作る場合は、次のことにご注意ください。

- 家庭用の製氷皿で作った氷(2cm角程度)を使用してください。
- 氷が多すぎるとうまくいかない場合があります。一度に入れる量は、0.3Lの目盛以下にしてください。
- 砕くときは、PULSE(パルス)機能を使い、様子を見ながら少しずつ砕くようにしてください。
- できあがったクラッシュアイスが取り出しにくいときは、本体からガラスボトルを取り外し、へらなどでかき出してください。
- 業務用の氷や完全に凍っていない氷は、うまくクラッシュできません。



故障かな? と思ったら

修理に出される前に、必ずお読みください。使用中に以下が生じたときは、修理に出される前に、下記をもう一度お調べください。それでも正常に機能しない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター(10ページ参照)までお問い合わせの上、修理を依頼してください。

症 状	すぐにあること	原因／対処
ブレードが回転しない、または回転が止まる	ダイヤルを「0」の位置に戻し、プラグをコンセントから抜いてください。	●材料が多すぎる。 →材料を減らしてください。 ●材料が大きすぎる。 →材料を小さく切りなおしてください。
ブレードが空回りする	ダイヤルを「0」の位置に戻し、プラグをコンセントから抜いてください。	●ガラスボトルに材料が張り付いている。 →へらなどで材料を落としてください。 ●材料が上下に分離している →へらなどで材料を混ぜ合わせてください。 ●材料が少なすぎる。 →材料を増やしてください。 ●材料が大きすぎる。 →材料を小さく切りなおしてください。
ガラスボトルの下から材料がもれる	ダイヤルを「0」の位置に戻し、プラグをコンセントから抜いてください。	●ふた、ガラスボトル、ブレードが正しくセットされていない。 →4ページを参照して正しくセットしてください。
材料があふれる	ダイヤルを「0」の位置に戻し、プラグをコンセントから抜いてください。	●材料が多すぎる。 →材料を減らしてください。

仕様

製品名称／型式番号	デロンギ パワーブレンダー(ミキサー)／KFM8150J
定 電 圧／周 波 数	AC 100V／50/60Hz
格 消 費 電 力	300W
時 間	3分
外 形 寸 法	幅165×奥行215×高さ405mm
重 量	本体約4.0kg(ガラスボトル重量1.7kg)
材 質	本体／メタル、ブレード／ステンレス・ナイロン樹脂(黒色部)、ガラスボトル／ガラス、ブレード台・ふた／ポリプロピレン樹脂、ふた用・ブレード用パッキン／シリコンゴム、キャップ／AS樹脂
ガラスボトル容量	定格容量：1.25L(最大容量：1.5L)
電源コードの長さ	1.9m
付 属 品	トレイ

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。
この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル(PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル(PBDE)の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



アフターサービスについて

1)使用中に異常(★)が生じた場合は、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。その後、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター(下記参照)にご相談ください。

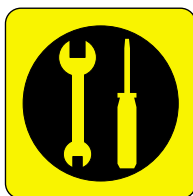
〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・本体の機器内部に水などの液体をこぼした
- ・本体に強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2)万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に1.お求め時期 2.製品名称と型式番号 3.故障の状況——を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、弊社サービスセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。宅配便の場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ(梱包箱)に同封してください。

3)保証期間中(1年)は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。

4)真心点検のお勧め：長い期間で使いいただくために、専門技術者による点検・整備も実施しております。点検の依頼の方法、料金などにつきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。



※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

ご購入年月日:

年

月

日

5)デロンギ再資源化システムについて



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター▶ (受付時間 土、日、祝日を除く毎日 9:30~18:00)

● コールセンター

修理について……………Tel. 0120-804-280

Tel. 0120-692-885

お問い合わせ……………Tel. 0120-064-300

Tel. 0120-692-880

／ Fax. 045-450-3291

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル

ホームページでのお問い合わせ(URL) <http://www.delonghi.co.jp>



De'Longhi Forum

イタリアのライフスタイル情報満載！デロンギフォーラム無料会員募集中！

詳しくは <http://www.delonghiforum.jp>



デロンギ・ジャパン株式会社

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel.03-5256-6321（代）

1771004IDL/02.08



再生紙を使用しています。